昭和39年８月27日第３種郵便物認可　（旬刊・毎月１、11、21日３回発行）　© 京都自動車新聞社 2021年　購読料（６カ月）11,000円（税込み）

2021年（令和３年）
11月11日木曜日
第1866号

京都自動車新聞

京ト協 ＫＴＫラリースタート式 2
京整振 委員会で各種方向付け 4
４者で災害連携協定を締結 6
電装整備士講習 ５年ぶり開講 7
◀ＡＪＡ次年度会長に渡邉氏 7

発行所　京都自動車新聞社　京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内）　電話（075）672-0552　ファクス（075）682-0205　メール access@kyotojidosha-np.jp

トレンドを追う①

卸売とソリューション両翼に

ブリヂストンタイヤソリューションジャパン

ブリヂストンタイヤジャパンは昨年10月、その名をブリヂストンタイヤソリューションジャパン（ＢＴＳＪ）に改め、事業戦略の方向性を内外に強く印象付けた。「タイヤ卸販売にとどまらず、ソリューション事業を創造する」というリーディングブランドの強いメッセージだ。コロナの影響、サプライチェーンや海外展開の在り方、新興商品との競合―と業界を取り巻く情勢は激しさを増し、タイヤメーカーは新たなビジネスの構築を迫られている。トップシェアを誇るブリヂストンであっても例外ではない。同社が先んじてソリューション事業の強化を明確に打ち出してから、はや１年。ＢＴＳＪの西中真也・京滋地区本部長に新領域の展望を聞いた。

―新境地へ踏み出した背景

「労働人口の減少やＡＩ（人工知能）、ＩｏＴ（モノの相互通信）などの技術進化をはじめとする社会環境の変化、ＭａａＳ（情報通信技術を活用した移動サービス）やＣＡＳＥ（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）などモビリティーの変化がタイヤビジネスにも大きな変化を及ぼすと考えている。例えば、企業ではドライバー不足やＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）経営、一般ユーザーでは車両の所有減少などが想定されるが、このような環境の変化をチャンスと捉え、『モノ売り』からサービスを伴ったビジネスモデルへの転換にかじを切った」

―ブリヂストンのソリューションビジネスとは

「強みである『断トツ』の商品とサービスをネットワークでつなげ、お客さまに最適なパッケージとして提供することだ。具体的にはＢｔｏＢ（企業間取引）だと、お客さまの課題やニーズにあわせ、低燃費タイヤや*リトレッド（再生・再加工）タイヤをはじめとする商品と高品質なサービスをパッケージングしたサブスクリプション型の『トータルパッケージプラン（ＴＰＰ）』を展開している。また、昨年12月には、トラック・バス事業者向けにＴＰＭＳ（タイヤ空気圧モニタリングシステム）を使い、運送事業者と情報共有する独自のソリューションツール*『Ｔｉｒｅｍａｔｉｃｓ（タイヤマティクス）』を発売した」

*第一次寿命が終了した事業車用タイヤに新しいトラッドゴムを貼り付ける。頑丈なベースタイヤがあってこそのサービス。かつての再生タイヤと違い、性能は格段に向上している。指差し部分が接合点。

―ＢｔｏＣ（企業対消費者間取引）分野でも月額定額制を取り入れる

「今年４月から、サービスとメンテナンスを組み合わせた乗用車向けサブスク型プラン『Ｍｏｂｏｘ（モボックス）』を、専用サイトと直営店で展開している。消費者の生活スタイルや購買行動の変化に対応するため、当サービスを導入し、新たな顧客を獲得できている。今後も、商品やサービスを拡充していく計画だ」

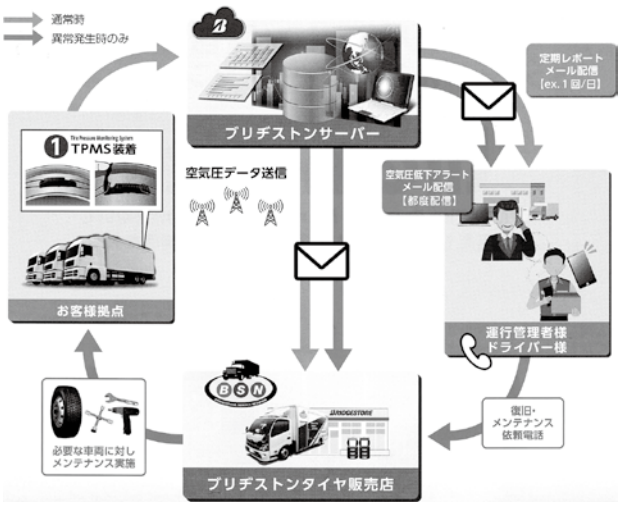
―京都エリアでのソリューションの展開

「リトレッドタイヤを今まで以上に提案している。リトレッドはタイヤコストの低下に加え、資源の有効利用やＣＯ$_2$排出量の削減が見込め、環境への貢献度が高い。また、将来的には、『タイヤマティクス』のようにタイヤから得られるデータのみならず、モビリティーシステムからデータを収集・習得し、新しい価値を生み出すビジネスモデルも構築していく」

―今後のタイヤ業界

「クルマの多様化に伴って、さまざまなサイズや専用タイヤを取りそろえる必要がある一方で、乗用車用、トラック・バス用共に需要の大きな伸びは見込めない。不透明な社会・経済環境下で、新興国メーカーはどんどん増え、価格競争のさらなる激化も予想されるが、お客さまが本当に求めるタイヤを提供するには、高い接客力とサービス品質が重要となるので、タイヤ販売店と一緒になって支持を獲得していきたい。そして、ブリヂストンの使命である『最高の品質で社会に貢献』を具現化していく。長期的には、空気の要らないタイヤやゴム製でないタイヤも登場するだろう。そのころには、また業界の形も変わっているはずだ」

「今は一般ユーザーも（セルフ式の増加に伴い）ガソリンスタンドで空気圧チェックしてもらう機会が減りがち。ＴＰＭＳは個人向けにも広げられるはず」と西中氏。



※空気圧情報を運行管理者とブリヂストン販売店へメールで定期配信する仕組み。

追跡 データベース ―日銀京都支店編―

京滋の景気、足踏み

８月 自動車も２カ月連続減

８月の京滋地区の景気は、これまでの改善トレンドを引き継ぎながらも、持ち直しが鈍化した。対前月では個人消費、観光、設備投資、住宅投資、公共投資、生産、雇用・所得全ての指標がほぼ横ばいの総合判断。日本銀行京都支店が10月18日公表した。

支店によると、主要小売業販売額は前年比５・４％減で、個人消費は再び悪化。京都の百貨店売上高、スーパー販売額共に落とし、家電販売額は20・３％減と精彩を欠いた。自動車関連では、乗用車販売が供給制約のあおりを受け、２カ月連続のマイナスを喫した。

観光分野は厳しい環境に見舞われるも、京都市内の主要ホテル宿泊客数は30・５％増。

設備投資は、旺盛な製造業の生産能力向上、研究開発、デジタル関連、環境関連への投資が全体を押し上げ、前年を上回る計画。非製造業でも、コロナ禍で先送りしていた更新投資を再開させる動きが見られる。

住宅投資分野は、府内の新設住宅着工戸数が前年を５％下回ったものの堅調ぶりを保ち、公共投資分野も府内の公共工事請負金額が同様に25・９％減少したにもかかわらず、依然高水準のまま。

製造業の生産活動では、電子部品・デバイスが自動車向けを中心に増。汎用・生産用・業務用機械も改善傾向が続く一方で、輸送用機械は弱含み。窯業・土石は横ばい、化学は増勢が鈍化した。

雇用・所得環境は幾分か戻したものの、物価は下落している。

指　　標	前年比（増率）
主要小売業販売額（8月）	▲5.4%
京都地区の百貨店売上高（8月）	▲9.5%
スーパー売上高（8月）	▲4.7%
家電販売額（8月）	▲20.3%
乗用車新車登録台数（8月）	▲0.7%
京都市主要ホテル宿泊客数（8月）	30.5%
管内短観の設備投資額（21年度）	11.6%
京都府の新設住宅着工戸数（8月）	▲5.0%
京都府の公共工事請負金額（9月）	▲25.9%
京都府の鉱工業生産指数（7月）	▲1.6%（前月比）
京都府の有効求人倍率（8月）	▲0.03ポイント（前月比）
京都府の雇用保険被保険者数（8月）	▲0.1%
京都市の消費者物価指数（8月）	▲0.2%
貸出（8月）	0.9%

天然由来で安心・安全　除菌抗菌・消臭剤「バクロン」

優れた抗ウイルス力
抗ウイルス試験において優れた効果を実証

圧倒的な抗菌力
複合アミノ酸と天然植物抽出液で、強力な抗菌力を持ち、室内空間を清潔に保ちます。

強力な消臭効果
強い浸透力で染み込んだ匂いにも消臭力を発揮。タバコ、ゴミ、トイレなど生活空間の悪臭を除去。

確かな安全性
天然由来原料を主成分とし、皮膚一次刺激性試験及び、経口毒性試験においても、高い安全性が証明されています。

株式会社大黒商会
本社／京都市右京区西院平町１０番地　営業所／南・亀岡・奈良・彦根・舞鶴・福知山・福井・小松・金沢
TEL 075-311-0141　FAX 075-312-4544　お問い合わせは、自動車部品部まで